# 學院だより

No.137

2014 4

〈東京家政学院大学〉

生活デザイン学科の地域連携活動
『全国ねぎサミット』出展風景
茨城県坂東市にて

〈筑波学院大学〉

留学生文化研究旅行
陶芸　ひねり体験

〈東京家政学院中学校・高等学校〉

平成 23 年度卒業生の成人を祝う会

〈東京家政学院中学校・高等学校〉

リニューアルした制服

目　次


○　東京家政学院大学……　1～4P
○　入試日程……　5P
○　筑波学院大学……　6～9P
○　入試日程……　10P
○　東京家政学院中学校・高等学校…　11～12P
○　学校法人東京家政学院……　13～14P
○　社会のなかで、研究室紹介……　15P



発行　学校法人　東京家政学院
〒 102-8341　東京都千代田区三番町 22 番地
Tel.　03-3262-2251（代表）　Fax.　03-3262-2174
URL　http://www.kasei-gakuin.ac.jp/houjin/

東京家政学院大学

TOKYO KASEIGAKUIN UNIVERSITY

町田キャンパス
〒194-0292　東京都町田市相原町 2600 番地
TEL：042-782-9811（代）

千代田三番町キャンパス
〒102-8341　東京都千代田区三番町 22 番地
TEL：03-3262-2257（代）

URL http://www.kasei-gakuin.ac.jp/

## キャンパスライフの主役はあなたです

東京家政学院大学
学長　天野　正子

待ちわびた春の訪れ。新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

みなさんはこれまで生徒と呼ばれてきましたが、今日から晴れて「学生」です。生徒と学生の違いは何でしょう？　教師や教科書から「正解」を学べばよかった高校までとは、学びの方法が違います。

「これってホントにそうなの？」と自分の中にある当たり前を疑うこと。「これってどうしてこうなの？」と自ら問いを発見すること。「どうすれば現状よりもっとよくなるの？」と仲間と夢を共有し、議論を重ねながら協働していくこと。受け身ではなく、学生のあなたが「主役」となって仲間や教師、地域社会の課題に積極的に働きかけていくことが、大学の学びの基本なのです。

もう一つ大切なのは、「わたしは何のために東京家政学院大学に入ったの？」と、自らに問うてほしいのです。91周年を迎えた本学の建学の精神は「広く知識（Knowledge）を求め、実践的な技術（Art）を磨き、それを社会のために生かす徳性（Virtue）を養うこと」です。あなたが主体となる学びで、社会に通用する専門性と、生き辛さを抱えている人たちへの想像力をしっかり身につけて下さい。

大学生という青春の季節は、人生のなかで時間を自分が管理できるもっとも自由な時間です。自由であるだけに、とまどい、悩み、迷うことがあるかもしれません。私たち教職員は、大学という未知の世界で、新たな学びを始めるみなさん一人ひとりを手厚く支え、応援していきます。

## 平成26年度 学友会会長挨拶

東京家政学院大学
学友会会長
中込　友実

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。これから始まる大学生活の４年間という新しいステージでは、きっと様々な人と出会い、様々な経験をすることができると思います。そしてその全てが自分を成長させてくれるチャンスです。沢山のことに挑戦する気持ちを大切にしてください。

また、新しい生活に不安や悩みを抱えることもあるでしょう。その時は先生方や先輩方に頼ってください。きっと力になってくれるでしょう。素敵な４年間となることを祈っています。

## 平成 26 年度 学友会役員決定

町田キャンパス

| | | | |
|---|---|---|---|
| 会　長 | 中込　友実 | 2DA | |
| 副会長 | 井上　夏菜 | 2DB | |
| 会　計 | 永安　佳乃 | 2PB | |
| 監　査 | 本多　南 | 2SW | |
| 役　員 | 寒河江　美咲 | 2SW | |
| 役　員 | 下川　望 | 2SW | |

千代田三番町キャンパス

| | | | |
|---|---|---|---|
| 副会長 | 小池　摩凜 | 3HC | |
| 会計・渉外 | 久々宇　晴香 | 3HC | |
| 監　査 | 髙橋　彩香 | 3HA | |
| 書　記 | 國井　彩花 | 3HA | |



## 「やさしさ」を行動で示した学生たちへの礼状

去年の秋のことです。東京都福生市に住む女性から学長宛にお便りをいただきました。千葉で空手の合宿を終えての帰宅途中、引率の先生とはぐれて泣いていた息子さん（小３）に、健康栄養学科の石山茜さんと阿部空美さんが声をかけ、自分たちの行く方向とは違うのに立川駅まで連れ添い、無事に先生や仲間たちと合流させて貰ったことへの礼状です。

二人に手を差し伸べられて、子どもが「どんなに安心したか、一人の社会人、母親、人間として、石山さん、阿部さんに〝本当のやさしさ〟とは何かを学んだ」と綴られています。子どもの小さな声を聞き取り、即座に行動に生かした石山さん、阿部さん。私たちはお二人から、「その気になればできる」という勇気と励ましを貰いました。ありがとう！

阿部空美さん

石山　茜さん

## オペラ「椿姫」の衣装制作

平成26年1月19日、八王子市学園都市文化ふれあい財団主催による南大沢コミュニティオペラ「椿姫」が南大沢文化会館にて開催されました。

卒業制作の学生3名と1年生5名で「椿姫」を読み、実際にオペラ公演を観て物語を把握し、役柄の特徴を摑みました。さらに、音楽監督、演技指導やヘアメイクの担当者と衣装デザイン（色彩、素材、シルエットなど）を打合せ、数回の仮縫いを経て仕上げました。

オペラ「椿姫」1 幕 乾杯の歌の場面

衣装は、主人公ヴィオレッタのレースフリルたっぷりのアイボリーのドレスと黒レースに赤いビロードのドレス、友人フローラのオレンジ色のレースのドレス、部屋着のガウンと病床での最期のシーンのネグリジェです。

## 生活デザイン学科の地域連携活動

生活デザイン学科は、衣、食、住、ものの領域について知識、技術を縦横に学ぶことができる学科です。その成果を、地域社会との様々な連携活動を通して発信しています。平成25年度は、大学で開発した商品の販売「大学はおいしいフェア」への参加（5月）、相模原四町との取組み「郷土料理　にごみ」の普及活動（8月他）、茨城県坂東市との共同研究成果を5万人が参加する「全国ねぎサミット」で発表（11月）、相模原アリオ橋本での夏休み物づくり体験教室の開催（8月）、学生が企画演出したファッションショー『KVAコレクション』（11月）、八王子でのファッションショーの発表（11月）等々です。

また、授業での産学連携活動では、横浜キャベツを使った36種のメニュー提案を行い、生産者、JAとの連携を図りました。さらに、町田市の醤油メーカーとの連携による商品開発の成果が小田急町田店にて催事販売されることになりました（3月19日から1週間）。いずれも、地元新聞や業界紙に大きく取り上げられました。平成26年度も、さらに多くの連携活動を行います。

## ネットワーク・パソコン（PC）教室のリプレイスについて

情報処理センターでは文部科学省の補助金を活用し、学内LAN等のネットワークと町田、千代田三番町の両キャンパスPC教室のリプレイス（構成機器等を最新仕様に交換し、機能向上を図る）を実施しました。今回のリプレイスにより以下の改善が図られました。

ネットワーク

・町田キャンパスを経由しているインターネット接続を千代田三番町キャンパスから直接行うよう拡張することで、災害・停電時の影響範囲を縮小できる

・最新装置の導入で学内LANが高速・高機能化し、教育研究活動全体の質及びセキュリティーの向上に寄与する

パソコン教室

・PCで使用するプログラムやデータをサーバ上に配置するシステム（ネットブート型シンクライアントシステム）の導入により、ソフトウェアや設定の変更を柔軟に行うことができ、故障の低減・迅速な復旧を可能とする。

## 平成 25 年度 大江賞受賞者及び卒業式代表者

平成 25 年度大江賞受賞者は次のとおりです。

| | |
|---|---|
| 現代家政学科 | 岩村　元子 |
| 健康栄養学科 | 齋　敦子 |
| 生活デザイン学科 | 前田　美佳 |
| 児童学科 | 荒井　佑子 |
| 人間福祉学科 | 佐々木英里 |
| 学友会会長 | 小林　紀子 |

平成 25 年度卒業式代表者は次のとおりです。

| | |
|---|---|
| 現代家政学科 | 木村　旭 |
| 健康栄養学科 | 髙橋香奈子 |
| 生活デザイン学科 | 尾﨑安友美 |
| 児童学科 | 川上　美咲 |
| 人間福祉学科 | 劉　鵬瑶 |
| 答辞 | 高森　千裕 |
| 送辞 | 中込　友実 |

## 「東京家政学院大学 地域交流会２０１３」を開催

本学の地域連携活動の情報発信の機会として平成19年より西武信用金庫との共催により年1回開催している「東京家政学院大学 地域交流会２０１３」を、平成25年度も11月28日に町田キャンパスで開催しました。

同交流会では、平成25年度に実施した7件の地域連携プロジェクト等について学生から報告し、また、発表の合間にはローズコートにおいて連携事例のポスター展示と合わせて参加者と教職員、学生との情報交換会を行いました。当日は、学内外合わせて60名以上が来場し、活発な意見交換が行われました。アンケートでは「大学の研究内容がたいへん身近に感じられ、連携の可能性が広がる思いです」などのコメントがあり、本学の地域連携への期待を感じることができました。

学生による連携事例発表

## 第13回神田小川町雪ダルマコンテストの参加

毎年恒例参加の「神田小川町雪ダルマコンテスト」に今年は、現代家政学科4年生の2チームが参加しました。彼女たちは1年生の時から欠かさずコンテストに参加し、過去に準優勝や一般投票賞などの受賞経験があります。

今年は、子どもたちに人気の「アンパンマン」と「ふなっしー」を作りました。製作中から人だかりが絶えず、完成後は、家族連れ、子どもたちに大人気、記念撮影の列が続きました。残念ながら賞は逃しましたが、参加学生たちは、２tの雪の塊と格闘し、素晴らしい作品を作り上げました。

このイベントも年をおうごとにインターネットで評判になり、年々来場者が増加しています。メイン会場の雪遊び広場は、日曜日は人で雪が見えないほどの盛況ぶりでした。また、町田キャンパスからは、人間福祉学科の学生が、運営ボランティアとして参加しました。

参加チームメンバーと応募作品

## 創立90周年記念　第25回特別展「本気で見せます！江戸の料理」

生活文化博物館では、東京家政学院創立90周年記念 第25回特別展「本気で見せます！江戸の料理」を平成25年10月3日（木）～10月31日（木）の期間、千代田三番町キャンパスロビーでプレ展示を開催し、11月9日（土）～平成26年2月14日（金）の期間、当館で本展示を開催しました。

主な展示資料は本学附属図書館大江文庫所蔵の江戸時代の料理書20点と、その料理書の再現料理を食品サンプル化した標本45点でした。12月に「和食」がユネスコ無形文化遺産へ登録されたこともあり、開催当初より各メディアからの取材が相次ぎ、その影響で見学者も多く、好評のうちに終了しました。

プレ展示の様子

本展示テレビ取材の様子

## 第50回ＫＶＡ祭開催

学内を中心に68団体約１０５０人を超す参加で盛り上げたＫＶＡ祭が平成25年11月9日（土）・10日（日）に開催されました。

ビンゴ大会はお笑い芸人にお・ま・か・せ！

第50回目の今回は学生制作品の展示が多く見られました。また大勢のファンが来場した声優の森久保祥太郎さんによるトークショーは１４００席のホールをほぼ満席にし、さらにアンパンマンショーでは子ども達の可愛らしい声援が響き渡り大盛況でした。

最後に…この成功には、参加者だけではなく実行委員も貢献しています。様々な問題を乗り越え、準備をしてきたみんなに感謝しています。

## 「特別公開講座」について

平成25年度の特別公開講座は、千代田三番町キャンパスでは、平成25年10月24日（木）に弁護士の堀田力氏を講師にお招きし、また、町田キャンパスでは、10月31日（木）に朝日新聞特別報道部記者の中山由美氏をお招きし、それぞれ実施されました。

千代田三番町キャンパス・階段教室にて、テーマ「NPO―何を、なぜ、どのように」について講演される堀田力先生



## "つばさ" シンポジウム　開催

キャンパスライフのあらゆる面で学生主体型の学び（アクティブラーニング）が展開されていることが本学の特色です。平成25年11月8日（金）、千代田三番町キャンパスで「都市型アクティブラーニング」の可能性と課題を探るシンポジウムを開催しました。「東日本広域の大学間連携による教育の質保証・向上システムの構築」（代表　山形大学　通称"つばさ"プロジェクト）の一環で、千代田区長の石川雅己氏、消費者庁長官の阿南久氏、パルシステム神奈川ゆめコープ理事長の吉中由紀氏など第一線で活躍する多くの登壇者が駆けつけ、「地域と大学」「大学と大学」連携による教育に貴重な発言をしてくださいました。

石川雅己千代田区長による特別講演「『千代田学』による千代田区と大学間連携」

阿南久消費者庁長官によるコメント

## 図書館データベース活用就活セミナー開催について

附属図書館では、就職活動に取り組む3年生を主な対象とした図書館データベース活用セミナーを、昨年7月と11月、今年1月に開催しました。千代田三番町キャンパスでは7月に、町田キャンパスでは11月に1日限定でパソコン室で開催したところ、参加者が少数であったことから、今年1月は学生の利便性を考慮し、町田本館談話コーナーにおいて1週間（10－16時）「図書館データベース活用就活ワンポイントレッスン」として開催しました。直前の就職講座や期間中に来館した学生にチラシを配付するとともに、電子メールで周知をしたところ8名の参加がありました。中には、友人と一緒に受講するケースもあり、開催期間の延長も実施しました。今後は、さらに参加者を増やすよう、学生のニーズにあった開催方法や告知のタイミングを検討したいと考えています。

ワンポイントレッスンの様子

## 大学開設50周年記念事業「卒業生インタビュー集」刊行

東京家政学院大学は平成25年度、開設50周年を迎えました。そこで本学では、開設50周年記念事業として、平成26年3月31日に「東京家政学院大学開設50周年記念事業　卒業生インタビュー集」が刊行されました。

これは50年間の卒業生の中から約１００名に、インタビューした内容を編集したものです。卒業後いろいろな道筋を経て、さまざまな分野で努力し、生き生きと生きている卒業生の姿を紹介するもので、卒業生から在学生へ送るメッセージでもあります。

## 現代生活学部の四年間

現代生活学部長　松野妙子

平成22年4月に町田キャンパスで誕生した本学部は、翌年4月からは千代田三番町キャンパスとの二キャンパス体制となり、この四年間で順調に発展してきました。

天野正子学長の下、学生の「卒業成長値」を高めるため、ポートフォリオシステムを導入して学生自身の自己評価・振り返りを促し、また、アクティブラーニングをこれまで以上に推進してきました。アクティブラーニングは、90年余前に大江スミ先生が本学を創立した際の目的で、学生の主体性を重んじる学びの方式です。その伝統を受け継ぎ、実験・実習・演習・フィールドワークを重視し、地域や大学や企業との数々の連携プログラムが進行中です。

3月には、初めての卒業生を送り出しました。現代の生活と真正面から取り組み、主体的に学びつつ、人と繋がりながら自分を成長させてきた卒業生の未来を祝福したいと思います。

## 「公開講座」について

平成25年度東京家政学院大学公開講座は、下記のとおり行われ、好評のうちに無事終了しました。

平成26年度の公開講座の予定は、決まり次第順次、ホームページ等でお知らせいたします。

多数のご参加をお待ちしております。

### 平成25年度東京家政学院大学公開講座実施一覧

| 開催キャンパス | 講座名 | 開催日 | 担当教員 |
|---|---|---|---|
| 千代田三番町キャンパス | 料理講座Ⅰ －小麦料を使った（和・洋・中）料理－ | 平成25年 6月22日（土） 全1回 | 冨永　芳枝 准教授<br>山岸　美穂 助　教 |
| | 料理講座Ⅱ －小麦料を使った（和・洋・中）料理－ | 平成25年 9月28日（土） 全1回 | |
| | 料理講座Ⅲ －クリスマス料理－ | 平成25年12月14日（土） 全1回 | |
| | 料理講座Ⅳ －雛料理－ | 平成26年3月1日（土） 全1回 | |
| | 楽しい食品加工 | 平成25年6月8日（土）・9月7日（土）・10月19日（土） 午前クラス・午後クラス各3回 | 林　一也 教　授<br>綿貫　仁美 助　教 |

| 開催キャンパス | 講座名 | 開催日 | 担当教員 |
|---|---|---|---|
| 千代田三番町キャンパス | 博物館講座 江戸にグルメ！ 江戸の料理とその再現Ａ | 平成25年10月26日（土） 全1回 | 熊井　保 教　授<br>冨永　芳枝 准教授<br>山岸　美穂 助　教<br>櫻井 美代子 助　教 |
| 町田キャンパス | デジタル一眼レフカメラで作品作りⅡ －初心者から一段ステップアップ－ | 平成25年 7月 6日（土）・7月20日（土）・7月27日（土） 全3回 | 呉　起東 准教授 |
| | 現代の子どもと学校 | 平成25年11月16日（土）・12月 7日（土）・12月21日（土） 全3回 | 長谷　徹 教　授<br>新海　公昭 講　師<br>後藤　範子 准教授 |
| | 生と死を考える 高齢社会を生き抜くために | 平成25年10月5日（土）・10月12日（土）・10月19日（土） 全3回 | 鈴木　元久 教　授<br>西口　守 教　授<br>須永　和宏 教　授 |
| | 博物館講座　江戸にグルメ！ 江戸の料理とその再現Ｂ | 平成25年11月16日（土） 全1回 | 熊井　保 教　授<br>江原　絢子 客員教授<br>櫻井 美代子 助　教 |

# 筑波学院大学
TSUKUBA GAKUIN UNIVERSITY

〒305-0031　茨城県つくば市吾妻 3-1
TEL：029-858-4811（代表）
FAX：029-858-7388
URL　http://www.tsukuba-g.ac.jp/

## 新入生を迎えて

筑波学院大学
学長　大島　慎子

ご入学おめでとうございます。

大学で学ぶ真の目的は、知識を得ることだけではなく、行動を起こすための力を身に付けることです。

筑波学院大学では、学校法人東京家政学院の創立者である大江スミ先生の教育理念である知識（Knowledge）の啓発、技術（Art）の錬磨、徳性（Virtue）の涵養を継承し、現代社会に必要である、グローバル社会に活かせる幅広い知識と高度なＩＴ社会に活用できる技術を習得し、それらを社会に役立てる意欲を育てる教育を行っています。この考え方を実現するために、本学では、１、２年生が「つくば市をキャンパスに」地域の企業、自治体や各種団体の活動に学生が参加して社会体験をします。現在約１００団体にご協力いただいていますが、皆さんもこのプログラムで活動することで、身近な社会の課題に気づき、自分の適性や可能性に気づく機会として活用してください。

昨年富士山が世界遺産に登録されたことで、私のゼミでも学生達が「世界遺産」を卒業研究にとりあげました。そして気付いたことは、二度と繰り返してはいけない事柄の記念として、広島の原爆ドームなどに代表される「負の世界遺産」といわれるものが存在することでした。そして負の遺産のすべてが、20世紀の出来事に起因していることでした。科学技術が進歩し、豊かな社会になっても人間は間違いをおかすわけです。

グローバル化によって、世界経済の相互依存関係は強まりますが、利害の対立も激しくなり多様な価値観がぶつかります。そのような時代に生きる皆さんは、異なる価値観や個性を理解し尊重する態度と、自分の考えを相手に理解してもらう力が求められます。

皆さんが本学で充実した４年間を過ごし、目標をもって社会に巣立つように、教職員が協力して支援いたします。

## 平成26年度　学友会会長挨拶

筑波学院大学
学友会会長
香取　茜

平成26年度、筑波学院大学学友会会長に就任しました香取茜です。私は入学した時より学友会役員として学友会活動に携わってきました。この２年間を振り返ると、多くのイベントの企画運営を通して、学生が充実した大学生活を過ごすために貢献できたと実感しています。学友会とは「会員相互の親睦と品位

## 平成 26 年度　学友会役員決定

| | | |
|---|---|---|
| 会　長 | 香取　茜 | |
| 副会長 | 栗田　澪 | 笹川　将汰 |
| 会　計 | 鈴木　千賀 | 本橋　佳奈子 |
| 書　記 | 岩瀬　穂香 | 堀江　美香 |
| 広　報 | 武藤　宏明 | 川村　匠 |
| | 市川　龍也 | 星　華子 |
| | 冨田　真美子 | 佐々木　愛美 |
| 広　報 | 山口　詩穂 | |
| 渉　外 | 佐藤　貴公 | ブルガリビッチ　アントン |
| | 本田　裕太 | |
| 会計監査 | 笠井　奨之 | |

平成 26 年度クラブ連合会

| | | |
|---|---|---|
| 会　長 | 生頭　利之 | 副会長　海老澤　佑樹 |

第 24 回 KVA 祭実行委員会

| | | |
|---|---|---|
| 委員長 | 太田　あかり | 副委員長　稲葉　一真 |



## 平成 27 年度　東京家政学院大学　入試日程

■入試日程

| 入試種別 | 日程 | 出願期間　※１ | 試験日 | 合格発表日 | 入学手続締切日 |
|---|---|---|---|---|---|
| ＡＯ入試 | １期 | ９月１日（月）～９月９日（火） | 別に定められた出願前の面談日 | ９月12日（金） | ９月25日（木） |
| | ２期 | ９月18日（木）～９月26日（金） | | 10月２日（木） | 10月10日（金） |
| | ３期 | 10月９日（木）～10月17日（金） | | 10月23日（木） | 10月31日（金） |
| | ４期 | 10月30日（木）～11月７日（金） | | 11月13日（木） | 11月21日（金） |
| | ５期 | 12月２日（火）～12月９日（火） | | 12月12日（金） | 12月19日（金） |
| 推薦入試 | Ａ日程 | 10月17日（金）～10月24日（金）<br>窓口受付：10月27日（月）※２ | 11月２日（日） | 11月６日（木） | 11月14日（金） |
| | Ｂ日程 | 11月18日（火）～11月28日（金）<br>窓口受付：12月１日（月）※２ | 12月７日（日） | 12月10日（水） | 12月19日（金） |
| 一般入試 | Ｓ日程 | １月６日（火）～１月15日（木） | １月24日（土） | １月29日（木） | ２月５日（木） |
| | Ａ日程 | １月６日（火）～１月16日（金）<br>窓口受付：１月19日（月）※２ | ２月１日（日）<br>２月３日（火） | ２月　５日（木） | ２月13日（金） |
| | Ｂ日程 | １月22日（木）～２月９日（月）<br>窓口受付：２月10日（火）※２ | ２月18日（水） | ２月20日（金） | ２月27日（金） |
| | Ｃ日程 | ２月20日（金）～２月27日（金）<br>窓口受付：３月２日（月）※２ | ３月12日（木） | ３月13日（金） | ３月20日（金） |
| センター試験利用入試 | Ａ日程 | １月20日（火）～１月30日（金）<br>窓口受付：２月２日（月）※２ | 大学入試センター試験<br>１月17日（土）<br>１月18日（日） | ２月６日（金） | ２月13日（金） |
| | Ｂ日程 | １月29日（木）～２月６日（金）<br>窓口受付：２月９日（月）※２ | | ２月17日（火） | ２月24日（火） |
| | Ｃ日程 | ３月５日（木）～３月16日（月）<br>窓口受付：３月17日（火）※２ | | ３月20日（金） | ３月27日（金） |
| 特別選抜試験（社会人・海外帰国子女） | Ａ日程 | ８月22日（金）～８月29日（金） | ９月12日（金） | ９月18日（木） | ９月26日（金） |
| | Ｂ日程 | 12月８日（月）～12月15日（月） | １月10日（土） | １月15日（木） | １月22日（木） |
| 私費外国人留学生試験 | Ａ日程 | ７月17日（木）～７月31日（木）<br>窓口受付：上記期間中※３ | ９月12日（金） | ９月18日（木） | ９月26日（金） |
| | Ｂ日程 | 11月13日（木）～11月27日（木）<br>窓口受付：上記期間中※３ | １月10日（土） | １月15日（木） | １月22日（木） |
| 編入学試験・学士入学試験 | Ａ日程 | ８月22日（金）～８月29日（金） | ９月12日（金） | ９月18日（木） | ９月26日（金） |
| | Ｂ日程 | 12月８日（月）～12月15日（月） | １月10日（土） | １月15日（木） | １月22日（木） |

※１　出願期間は、郵送での締切日（消印有効）を表す。
※２　推薦入試、一般入試（Ｓ日程を除く）、センター試験利用入試の窓口受付は、町田キャンパス入試広報グループ窓口に限る。
※３　私費外国人留学生試験の窓口受付は、郵送出願期間中（土・日曜、祝日を除く）の町田キャンパス入試広報グループ窓口に限る。

■ＡＯ入試面談日・キャンパス

| | 面談実施日 | 現代家政 | 健康栄養 | 生活デザイン | 児童 | 人間福祉 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| １期 | ８月26日（火） | 千代田三番町 | 千代田三番町 | 町田 | 町田 | 町田 |
| ２期 | ９月13日（土） | 〃 | | 〃 | 〃 | 〃 |
| ３期 | 10月４日（土） | 〃 | 千代田三番町 | 〃 | 〃 | 〃 |
| ４期 | 10月25日（土） | 〃 | | | | |
| ５期 | 11月29日（土） | | | 町田 | 町田 | 町田 |

■オープンキャンパス日程

| | 千代田三番町キャンパス | 町田キャンパス |
|---|---|---|
| ６月 | 15日（日） | 22日（日） |
| ７月 | 20日（日） | 20日（日）、27日（日） |
| ８月 | ２日（土）、３日（日）、24日（日） | ３日（日）、24日（日） |
| ９月 | 28日（日） | |
| 10月 | | ５日（日） |
| 11月 | | ８日（土）、９日（日）<br>ＫＶＡ祭と同時開催 |
| 12月 | ６日（土） | 14日（日） |
| ３月 | 28日（土） | 22日（日） |

※詳しくは大学案内、学生募集要項をご覧下さい。

（お問い合わせ先）
東京家政学院大学
〒194-0292　東京都町田市相原町２６００番地
町田キャンパス入試広報グループ
TEL　０４２－７８２－９４１１　　FAX ０４２－７８２－１７１１
URL　http://www.kasei-gakuin.ac.jp/　E-mail　nyushi@kasei-gakuin.ac.jp

## 「大学案内 2015」完成

５年ぶりにフルモデルチェンジした大学案内2015の巻頭特集では、くらしから広がる多様な働き方をイラストで表現、また地域連携などを通じて生き生きと課題に取り組む学生たちの姿を紹介しています。

の向上を図ると共に、自主精神とＫＶＡ精神を基として人間形成に努め、あわせて筑波学院大学の発展向上に寄与すること」を目的とした組織です。私は特に親睦・品位・自主精神に焦点を当て、どのような状態を指すのかを考えました。親睦は、友人と明るい関係を築けること。品位は、相手を思いやった行動ができること。自主精神は、自ら取捨選択して行動できること。今年度は原点に立ち返り、学生がこの三点を兼ね備えた人物になれるように、また、学生生活を振り返ったときに思い出してもらえるようなイベントの企画運営や、ボランティア等責任を持って有意義な活動をして参ります。

## 留学生文化研修旅行を実施

笠間稲荷神社にて

平成25年11月9日（土）に留学生文化研修旅行を実施しました。学部留学生10人、国際別科生３人、日本人学生2人、教職員2人の合計17人が参加しました。陶芸で有名な笠間にて陶芸　ひねり体験、笠間稲荷神社見学、筑波山足湯温泉体験などを行いました。この研修旅行を通して親しくなった新しい友人が出来た学生もいて、とても有意義な研修となりました。

## ＩＣＴ環境の整備について

文部科学省の補助金事業（ＩＣＴ活用推進事業・教育研究活性化設備整備費）により、ＩＣＴの環境が整備されました。今回は特にアクティブラーニングやＰＢＬ（問題解決型学習）など、協働をキーワードに様々な設備が整備されています。

ディスカッションルームと図書館グループスタディルームでは、ディスカッションやグループ研究に効果的なプロジェクターシステムがゼミなどで活用されています。高度な動画コンテンツや３ＤＣＧコンテンツの制作と相互評価や鑑賞ができるようになった演習室も学生に人気です。

学生が制作したコンテンツをお互いに視聴して切磋琢磨している姿に、将来のクリエイターとしての頼もしさが見られます。

今回は、学生のみならず地域住民との協働も視野に入れており、サテライト学習システムなどの導入により地域の拠点との協働や、３Ｄプリンター利用のものづくりにも貢献することが期待されています。

映像メディアコンテンツルーム

## 「セグウェイ×被災者支援」避難者向けセグウェイ試乗会

イベント風景

12月7日（土）本学の2年生が、原発事故の影響で、福島県から主につくば市内に避難している皆さまを招いてセグウェイ試乗会を実施しました。

本学が所有するセグウェイ2台のほか、筑波銀行所有のセグウェイ1台をお借りして、「実践科目Ｂ」の活動の一環として試乗会を開催しました。試乗会のチラシを作成し、避難されている方のお宅を見守りも兼ねて配付し、また、関係機関に電話連絡・調整するなど、精力的に準備を進めました。

当日は好天に恵まれ、つくば市内に避難されている方のみならず、福島県内に避難中の友達、家族も加わり、30名を超す方々が参加してくださいました。「つくばらしい乗り物」「テレビでは見たことがあるけれど、乗るのは初めて」「年賀状に写真を載せたい」など、皆さん終始笑顔の試乗会となりました。

インストラクター免許を持つ学生たちは、避難されている方たちに安全にセグウェイを楽しんでいただくため、乗り方のデモンストレーションをした上で、一人一人の年齢や体力にあわせて、無理のないように乗り方を指導することができました。

## フィリピン台風 30 号被害への支援活動

本学の池口セシリア教授の母国であるフィリピンで11月４日(月)に起こった台風の大きな被害に心を痛め、支援したいと考え、学友会のメンバーが募金、支援品集めを行いました。学生、教職員の皆様のご協力で41,000円の募金と衣類やせっけんなどすぐ役に立つものがたくさん集まりました。12月21日（土）に池口先生のお知り合いの常総市カトリック教会のシスターロース様に学友会から直接お渡ししました。後日フィリピンから来られる牧師から直接現地に届けていただくことになっています。

学友会の代表からシスターロースへ贈呈



## ＫＶＡカップ

10月26日（土）に第1回　ＫＶＡ　ＣＵＰ（英語スピーチコンテスト）が、筑波研究学園都市50周年事業として、筑波学院大学主催、（株）ＪＴＢ関東、（株）British Hills の協賛、つくば市及び一般社団法人日本英語交流連盟の後援で開催されました。全国から40人の応募があり、部門ごとに甲乙つけがたい素晴らしいスピーチが行われました。当日は詩を朗読する小学生から時事問題の即興スピーチに臨む社会人まで、参加者の皆さんが国際人として英語に向き合う姿を見せていただけました。

表彰式には市原つくば市長も登壇され、筑波学院大学のテンキムサンさん（国際別科生）へ市長杯の授与が行われました。高校生には筑波学院大学学長杯、中学生には日本英語交流連盟杯、小学生と帰国子女には筑波学院大学ユース杯がそれぞれ授与されました。

表彰式

## つくッペ

11月10日（日）つくば市の関東最大級のショッピングセンターであるイーアスつくば2階のサイバーダインスタジオにて、『つくばショートムービーフェスティバル　つくッペ』が開催されました。このイベントは筑波研究学園都市50周年を機に、産（イーアスつくば）・官（つくば市）・学（筑波学院大学）の共催で市民が楽しめる映画祭として企画・運営されたものです。

最年少は16歳から最高齢は72歳まで幅広い年齢層から事前に応募いただいた71作品の中から選ばれた、最終ノミネート作品11作品は、実写ムービーからアニメーション作品まで様々。これら全てを上映し、特別審査員として　映画「奇跡のリンゴ」などで知られるつくば市出身の中村義洋監督を迎え、一般公募された観客審査員50人らとともに審査が行われました。中村監督と筑波学院大学非常勤講師でクリエーターの池上彰氏とのトークセッションもあり、ショートムービーへの熱い思いで満ちた一日でした。

フェスティバル風景

## 第18回ＯＣＰアドバイザー会議を同時開催　ＯＣＰ学年報告会と

1月27日（月）1年間のオフ・キャンパス・プログラム（ＯＣＰ）の活動の締めくくりとして、代表者によるＯＣＰ学年報告会と第18回ＯＣＰアドバイザー会議を同時開催しました。

1年生は国際別科の外国人学生を含め、12組がそれぞれの活動の概要や特徴、自分たちの身に付いた力、などについて報告を行いました。平成25年度から、保護者の方にも公開しました。

2年生は30時間以上の活動で得た体験を、時には音や映像を取り入れながら報告しました。3年生の報告では、自分たちが企画立案した60時間を超える活動について、アイディアなども交え、報告を行いました。

学生発表の様子

外部のアドバイザーの皆さまからも、熱心に質問をいただくと共に、プレゼンテーションの方法についてのご指導や、3年間活動してきた学生たちへの励ましとお褒めの言葉をいただきました。

また、平成25年度から創設されたＯＣＰ奨励賞には、以下の４名（組）が選ばれました。おめでとうございます！

実践科目Ｂ（2年生）
・平賀菜津子（ＮＰＯ法人茨城ＹＭＣＡ）

実践科目Ｃ（3年生）
・榎本　拓也、大和田洋輔、正野完治、関本和宏、藤田　祐治、最上　大河、山口雅人（つくばセグウェイプロジェクト）
・木村悠、曽川香澄（スマイルアップ推進委員会）
・大蔵歩（つくばパソコンボランティアサークル、他）

## CG-ARTS 協会検定合格証の授与式が行われました

CG-ARTS 協会では情報化社会の進展に伴う時代の変化に対応した、社会から求められる実践力を持つ人材を育成するために、目指す職種にあわせて５つの検定が実施されています。２月３日（月）に検定試験の合格証が大島学長より授与されました。

合格者は、CG クリエイター検定（ベーシック）８人、マルチメディア検定（ベーシック）3人、Web デザイナー検定（ベーシック）２人です。

来年はさらに上級の資格を取得することが期待されます。

授与式後の集合写真

## 老人ホームでロボットセラピー活動

活躍したロボットたちと全員で記念撮影

10月6日（日）にベネッセの有料老人ホーム「くらら青葉台」で浜田利満教授とゼミの学生がロボットセラピー活動をしました。

このホームには、浜田ゼミの卒業生が働いており、その関係で1月にロボット・セラピー紹介を兼ねて訪問し、活動が始まりました。

今回の活動は計測自動制御学会ロボット・セラピー部会とくらら青葉台の共催の2回目のロボット活動です。当日は筑波学院大学、愛国学園大学、拓殖大学から16名と、「ツック」ことコミュニケーションロボットPaPeRo、アザラシ型ロボットParo、AIBO、ネコロ、そしてヒューマノイド型ロボットPalroが参加し、にぎやかに、楽しく活動ができました。この活動は様々なロボットと高齢者が楽しく触れ合うことに特長があります。

活動終了後、施設のスタッフの方々から、入居者の皆さんに普段とは違った反応が見られ、楽しんでくれてよかったとの意見をいただきました。

本学の学生も、ロボットに対する思いがけない高齢者の反応をみて、今後のロボットプログラム作成のヒントを得たようです。

## 第23回KVA祭が開催されました

平成25年度第23回KVA祭が10月26日（土）・27日（日）に開催されました。

1日目は台風の影響を受け、天候には恵まれませんでしたが、学内ではKVACUPやバンド演奏、ダンス、ジャグリングショー、サークルやゼミの展示、フリーマーケットなどが行われ、来場された皆様に楽しんで頂きました。

2日目は台風一過の晴天の下、野外ステージではライブやキッズダンス、ヒーローショーなどのイベント、例年人気の筑波後援会のお餅やくだものなどの模擬店もあり、会場は大いに盛り上がりました。また、体育館では第8回目をむかえるKVA杯 小学生ドッジボール大会が開催されました。

ご協力いただきました近隣の皆様及び協賛いただきました企業、後援会、卒業生の皆様に、改めてお礼申し上げます。

平成25年度 KVA祭の様子

## 社会人基礎力育成グランプリ2014 関東地区大会において奨励賞受賞

12月8日（日）、本学の3年生7名と金久保紀子准教授が、社会人基礎力育成グランプリ2014関東地区大会に参加。セグウェイプロジェクトについてプレゼンテーションを行い、奨励賞を受賞しました。発表タイトルは「つくば市におけるセグウェイを使った児童の見守り活動―小大連携の実践的な取り組みとして―」です。

学生たちは昨年10月から隔週で近隣の吾妻小学校の児童下校時に、セグウェイを使った見守りの活動を行っています。ロボット実証実験特区であるつくば市内の特定地域だけで行える活動で、本学でしか取り組めない小学校・大学連携のユニークな取組であることをアピールし、注目を集めました。出場者は、経営情報学部3年、山口雅人、関本和宏、正野完治、榎本拓也、最上大河、大和田洋輔、藤田裕治の7名です。

「社会人基礎力育成グランプリ」は2008年から経済産業省が主導して実施してきた大会で、平成25年度は社会人基礎力協議会が経済産業省との共催で開催しました。

社会人基礎力育成G

## 平成25年度 大江賞受賞者及び卒業式代表者

平成25年度大江賞受賞者は次のとおりです。

経営情報学科　武藤　友香

平成25年度卒業式代表者は次のとおりです。

総代　経営情報学科　鈴木　亮大
答辞　経営情報学科　元木　将人
送辞　経営情報学科　野濱　哲也

## 筑波学院大学コミュニティカレッジの開講について

語学講座33講座、教養講座34講座を平成26年5月8日から開講予定です。

講座受付は平成26年3月から開始いたしました。

詳細は筑波学院大学ホームページをご覧ください。

お問い合わせ先：kouza@tsukuba-g.ac.jp



# 平成27年度　筑波学院大学　入試日程

■推薦入試

| 区分 | 出願期間（消印有効） | 試験日 | 合格発表 |
|---|---|---|---|
| A日程 | 10月14日（月）～10月27日（月） | 11月 3 日（月・祝） | 11月 5 日（水） |
| B日程 | 12月 1 日（月）～12月10日（水） | 12月14日（日） | 12月16日（火） |

■一般入試

| 区分 | 出願期間（消印有効） | 試験日 | 合格発表 |
|---|---|---|---|
| A日程 | 1 月 6 日（火）～ 1 月26日（月） | 2 月 1 日（日） | 2 月 3 日（火） |
| B日程 | 2 月 2 日（月）～ 2 月20日（金） | 3 月 1 日（日） | 3 月 3 日（火） |

■大学入試センター試験利用入試 ［大学入試センター試験日：1月17日（土）・18日（日）］

| 区分 | 出願期間（消印有効） | 試験日 | 合格発表 |
|---|---|---|---|
| A日程 | 1 月26日（月）～ 2 月 6 日（金） | 本学独自の学力審査はありません | 2 月18日（水） |
| B日程 | 2 月23日（月）～ 3 月 6 日（金） | | 3 月18日（水） |

■ AO 入試【セミナー型】

| 区分 | セミナー開催日 | 出願資格認定通知日 | 出願期間（消印有効） | 本面談日 | 合格発表 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1期 | 7 月21日（月・祝） | 7 月24日（木） | 8 月 4 日（月）～ 8 月15日（金） | 本面談はありません | 8月26日（火） |
| 2期 | 9 月15日（月・祝） | 9 月18日（木） | 9 月22日（月）～10月 3 日（金） | | 10月14日（火） |

■ AO 入試【予備面談型 / 作品型】

| 区分 | 出願期間（消印有効） | 本面談日 | 合格発表 |
|---|---|---|---|
| 1期 | 8 月11日（月）～ 8 月22日（金） | 8 月31日（日） | 9 月 8 日（月） |
| 2期 | 9 月16日（火）～ 9 月26日（金） | 10月 5 日（日） | 10月 8 日（水） |
| 3期 | 11月 4 日（火）～11月14日（金） | 11月24日（月・祝） | 11月26日（水） |
| 4期 | 1 月 6 日（火）～ 1 月30日（金） | 2 月 8 日（日） | 2 月12日（木） |
| 5期 | 2 月23日（月）～ 3 月 6 日（金） | 3 月15日（日） | 3 月18日（水） |

■私費外国人留学生入試

| 区分 | 出願期間（消印有効） | 試験日 | 合格発表 |
|---|---|---|---|
| A日程 | 9 月 1 日（月）～ 9 月17日（水） | 10月 5 日（日） | 10月 8 日（水） |
| B日程 | 10月20日（月）～10月31日（金） | 11月24日（月・祝） | 11月26日（水） |
| C日程 | 1 月 6 日（火）～ 1 月15日（木） | 2 月 8 日（日） | 2 月12日（木） |
| D日程 | 2 月16日（月）～ 2 月27日（金） | 3 月15日（日） | 3 月18日（水） |

■社会人入試

| 出願期間（消印有効） | 試験日 | 合格発表 |
|---|---|---|
| 1 月 6 日（火）～ 1 月23日（金） | 2 月 8 日（日） | 2 月12日（木） |

■オープンキャンパス開催日時

| | | |
|---|---|---|
| 4 月27日（日） | 10:30～ | |
| 5 月18日（日） | 10:30～ | |
| 6 月15日（日） | 10:30～ | |
| 7 月21日（月・祝） | 10:30～ | AOセミナー同時開催 |
| 8 月 3 日（日） | 10:30～ | |
| 8 月24日（日） | 10:30～ | |
| 9 月15日（月・祝） | 10:30～ | AOセミナー同時開催 |
| 10月25日（土）<br>10月26日（日） | 10:30～ | KVA 祭同時開催 |
| 3 月22日（日） | 10:30～ | |

■入試相談会

| | |
|---|---|
| 11月16日（日） | 10:30～ |
| 12月 7 日（日） | 10:30～ |
| 2 月22日（日） | 10:30～ |

■授業公開期間

| |
|---|
| 7 月22日（火） |
| 7 月23日（水） |

## 「大学案内 2015」 ―ススメミライへ―

茨城県つくば市は「モビリティロボット実験特区」の認定を受けています。本学ではCOC（Center of Community）の一環として地域研究や地域活動にSeguwayを導入しています。

つくば市をキャンパスに、ミライに向けて社会に参加し、自立する力を磨きます。

（お問い合わせ先）
筑波学院大学
〒305-0031　茨城県つくば市吾妻3-1　入試広報グループ
TEL　029－858－4815　　FAX　029－858－7388
URL　http://www.tsukuba-g.ac.jp/　　E-mail　nyushi@tsukuba-g.ac.jp

# 東京家政学院中学校・高等学校

TOKYO KASEIGAKUIN JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

〒102-8341
東京都千代田区三番町 22 番地
TEL.03-3262-2255（中学）
TEL.03-3262-2256（高校）
URL http://www.kasei-gakuin.ac.jp/chuko/
E-mail:koho@chuko.kasei-gakuin.ac.jp

## 入学生の皆さんへ

校長　長尾　宏

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

これから中学生は6年間、高校生は3年間、この家政学院で過ごすことになります。合格通知を受け取ったその日から、皆さんはこれから始まる学校生活に多くの期待をされたことと思います。新しい友達との出会いはきっと皆さんを更なる成長へと導いてくれることでしょう。

しかし、その過程は決して楽しい事ばかりではないはずです。時には悪気のない不用意な発言で、誰かを傷つけてしまい友人関係が壊れてしまうような場面があるかもしれません。皆さんは自分がそんなピンチに陥った時、どう解決するのでしょうか。

家政学院の教育は、皆さんが希望する大学に進学することのできる学力を身につけることはもちろんですが、社会人として必要なコミュニケーション能力を育てていくことにも重点を置いています。良好な友人関係を築くためには、まず「自分を知ること」つまり、自己を客観視できる能力を身につけることが大切です。本校の「エンカウンター教育」で身につけたコミュニケーション能力は、将来、皆さんに訪れたピンチをチャンスに変えてくれる強力な武器になることでしょう。

次に肝心の学力向上についてお話しします。まず、基礎学力をしっかりと身につけること、そして、論理的思考に裏付けされた応用力のある「真の学力」を身につけさせます。そのために本校独自の学習プログラムに沿って、コース別の授業、習熟度別授業、補習、講習と徹底した少人数での指導を展開しています。それと同時に、皆さんの適性を見極め、皆さんひとり一人の夢を実現させるためのキャリア教育を徹底しておこなっています。

生きる力（学力・人間力）を身につけ、その成長が生み出す自尊の心（自分を好きでいられる、大切に思える、誇りに思える心）を育て、社会に貢献できる自立した女性の育成を目指す本校の教育力に期待して下さい。

## 平成26年度　中学生徒会役員決定

中学生徒会長
矢作　安真音さん



中学副生徒会長
水島　菜摘さん

※高校の生徒会役員は5月に決定します。

## 平成 26 年度　中学生徒会長挨拶

ごきげんよう。この度、生徒会長に就任しました矢作安真音です。

昨年度は、生徒会の生徒評議会副議長として議長の補佐役を務めました。

今回、私が生徒会長に立候補したきっかけは、先輩からとてもやりがいのある仕事だと言われたからです。

生徒会長に決まった瞬間は、嬉しい反面「自分にできるかな」と不安になりました。しかし、私のまわりには仲間がいるので心強いです。

私は小学生の時から内気で大勢の前で話すことが苦手ですが、これから克服していき皆をまとめられるしっかりとした生徒会長になりたいと思います。

そして、私が生徒会長になったからには、生徒ひとり一人が「この学校を選んで良かった」と思えるような学校にしていきたいです。学校のため、生徒の皆さんのため、これから精一杯がんばります。



## 平成25年度 高校卒業式

春まだ浅い3月3日、第66回卒業式が挙行されました。平成25年度の卒業生は総勢１１０名。そのうち18名が3ヵ年皆勤し、表彰されました。

また、学院に貢献し優秀な成績を収めた生徒に贈られる『大江賞』は、体育委員会委員長などを務めた粕川桃佳が受賞。卒業生代表の答辞は、文化祭実行委員執行部委員長を務めた小林菜央が大任を果たしました。

## 高校送別会

ごきげんよう。平成26年2月22日に高校送別会を行いました。3年生への惜別と感謝の思いを込めて、各団体が趣向を凝らした発表を行いました。

吹奏楽部・ソングリーダー部・バトントワリング部による合同発表

様々な思いを伝え合うには短い時間でしたが、３年生にとって家政学院生活の思い出の一つとなったのならば、何よりです。

## 開設75周年記念事業について

今年度は、１９３９年に東京家政学院高等女学校が開学し、75周年を迎えます。この機会に、今日に至るまでの歴史を振り返り、建学の精神を再認識するとともに、更なる発展のために記念事業を実施していきます。

○リニューアルした新制服の広報
○各行事において75周年を意識した開催
　体育祭時に人文字の作成・記念写真
　文化祭時に記念の部屋の設置
　合唱祭時にスペシャルステージの設定など
○記念講演：著名な卒業生による講演会
○シンボルマークのキャラクターの製作
○75周年特製オリジナル飴の製造
○記念冊子の発行
○卒業生を対象とした『ありがとう』キャンペーンの展開
○三番町町会と連携し、山王祭への参加

以上、在校生・保護者はもちろん卒業生・地域の方々も一緒になって取り組んでいきたいと思っています。どうぞご支援よろしくお願いいたします。

合唱祭

## 成人を祝う会

ごきげんよう。

平成26年1月16日（木）ローズホールで「成人を祝う会」を行いました。

平成23年度卒業生が80名以上参加しました。美しい着物姿が目に鮮やかでした。

懐かしい友人との再会。そして、ご退職なさった先生方もお祝いに駆けつけました。

あづま会の皆さまのご協力もあり、笑顔笑顔の女子会となりました。

卒業生のみなさん、成人おめでとう。これから、ますます素敵に輝いてください。

## 2014 年度　東京家政学院　高等学校校内説明会日程

“ テーマは体験　主役はわたし達 ” 在学生がご案内します。
※９月までの日程を載せています

| キャンパスツアー | | 説明会 | | |
|---|---|---|---|---|
| 中学校 | 4 月 19 日（土）11：00 | 5 月 3 日（土）10：00 | | 学校見学会 |
| | 4 月 26 日（土）11：00 | 6 月 12 日（木）10：00 | | 保護者対象説明会（ｉ） |
| | 5 月 24 日（土）11：00 | 6 月 22 日（日）９：30 | | クラブ体験 |
| | 6 月 7 日（土）11：00 | 7 月 13 日（日）９：30 | | 授業体験 |
| | 9 月 20 日（土）11：00 | 9 月 7 日（日）９：30 | | ばらフェスタ |
| 高等学校 | 6 月 28 日（土）11：00 | 7 月 20 日（日）９：30 | | 併設大学合同説明会 |
| | 10 月 4 日（土）11：00 | 8 月 2 日（土）９：30 | | 生徒会活動説明会 |
| | | 8 月 30 日（土）９：30 | | 1 日入学（クラブ＆授業） |
| | | 10 月 26 日（日）９：30 | | ばらフェスタ |

■学校見学
中学・高等学校　共通
平日 10:00 ～ 16:00　土曜 13:00 ～ 16:00
※事前にご連絡下さい。（学校行事等の都合で見学できない場合があります）

■中学・高等学校共通イベント
受験生・保護者の皆様は予約なしで見学できます。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 9月未定 | 10：00 ～ 15：00 | 体育祭（常磐祭第一部） | 未 定 |
| 9月 27 日（土） | 10：00 ～ 15：00 | 文化祭（常磐祭第二部）入試相談実施 | 本 校 |
| 9月 28 日（日） | 10：00 ～ 15：00 | 文化祭（常磐祭第二部）入試相談実施 | 本 校 |
| 1月 28 日（金） | 13：00 ～ 15：30 | 合 唱 祭 | 練馬文化センター |

**ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。**

〈お問い合わせ先〉
東京家政学院中学校・高等学校　入試事務室
電話　03-3262-2559（入試専用ダイヤル）　FAX　03-3262-2223
ホームページ　http://www.kasei-gakuin.ac.jp/chuko/

学校法人 東京家政学院

Knowledge ： 知識を高める
Virtue ： 徳性を養う
Art ： 技術を磨く

〒102-8341　東京都千代田区三番町22 番地
TEL：03-3262-2251（代）

URL http://www.kasei-gakuin.ac.jp/houjin/

## 東京家政学院創立 90 周年記念募金のお願い

本学院では東京家政学院の創立 90 周年を記念し、卒業生や教職員の皆様のご賛同を得て、平成 22 年 7 月から平成 27 年 5 月まで募金活動を行っております。

お陰様で現在、約 6,646 万円のご寄付をいただきました。

ご協力いただきました皆様に厚くお礼申し上げます。

お寄せいただきましたご芳志は、千代田三番町、町田、並びに筑波の各キャンパスの教育環境整備などに活用させていただきます。

引き続き、皆様方のご支援ご協力をお願い申し上げます。

### 記念募金の状況（平成 26 年 3 月末日現在）

卒業生、役員、教員、職員、在学生保護者等
個人から　51,997,287 円

光塩会、あづま会、東京家政学院大学保護者会、筑波後援会、卒業生一同等
団体から　8,475,440 円

その他、企業、法人等から　5,990,000 円

### 募金は次のような事業に使用されています

テニスコート整備
（千代田三番町キャンパス）

ローズコート
（町田キャンパス）

図書館のパソコン更新
（筑波キャンパス）

キャリアサポートセンター
（高等学校・中学校）

### 募金方法

ご支援いただける場合、次の指定銀行口座へお振り込みください。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 振込先銀行名 | みずほ銀行（0001） | 支　店　名 | 麹町支店（021） |
| 預 金 種 目 | 普通預金 | 口 座 番 号 | 1216980 |
| 口座名義人 | ガク）トウキョウカセイガクイン**ソウリツ**キュウジュウシュウネンキネンボキン<br>学校法人東京家政学院創立 90 周年記念募金 | | |

※ご支援いただいた際には、住所、漢字氏名等を確認させていただきたいため、末尾記載の募金事務局までご一報ください。

＜お問合せ先＞

学校法人 東京家政学院 募金事務局　TEL：03-3262-2242　E-mail：bokin@kasei-gakuin.ac.jp



## 新入生の皆さまへ

光塩会会長
永山　スミ

御入学、おめでとうございます。

光塩会は、東京家政学院で学ばれた方々の同窓会でございます。創立者大江スミ先生が、聖書（マタイ伝 5:13、5:14）「あなた方は地の塩、世の光である。」という聖句から名付けられました。本学で学び、磨き、育まれたあなた方の光を、人々の前に輝かすように、という願いを込められて、人として生きる指針を示されたものでございます。

昨年、創立90周年を御祝いいたしました光塩会員約5万人の卒業生が、御入学と同時に学生会員となられました皆さまを、心から歓迎いたします。共に手を携えて、学院発展のために歩んで参りたいと願っております。

皆さまは、この4年間、貴重な学生生活の特権を思う存分活用し、キャンパスライフを満喫なさって下さいませ。

大学は、学ぶことの楽しさを味わう場であります。何故、何の為に学ぶのかを問い続けるとき、「思いがけない自分」を発見することでしょう。

また、「良き友との出会い」が待っている場でもあります。生涯の友としての友情を育むことができますように願っております。

光塩会は、光塩の名にふさわしく、世の光として家庭に、社会にご活躍なさっておられる多くの卒業生と学生の皆さまとが繋がれる場でございます。皆さまとの友情の輪が広がり、縦横の絆で固く結ばれることを期待しております。

光塩会の諸活動にも、是非御参加下さいませ。皆さまの新鮮なエネルギーを吸収し合い、世の光、地の塩としての原動力を培って参りたいと存じます。

何卒、悔いのない学生生活を送られますよう、会員一同、心から御祈りいたしております。

## 新入生へのメッセージ

あづま会会長
澤田三和子

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ようこそ東京家政学院へ。

あづま会は、東京家政学院高校の同窓会です。今年は、中学・高校が高等女学校として昭和14年に設置されて、75周年です。

あづま会会員である皆さんの先輩には、各方面で活躍している方がたくさんいます。周年行事には、その活躍している先輩に声を掛けて、一緒に参加していただけるようにと考えています。

皆さんと一緒に75周年をお祝いできることは大変に嬉しく思います。

皆さんにお目にかかるのは、秋に開催する常磐祭（体育祭、文化祭）です。体育祭では、皆さんの元気な競技姿を応援して、高校3年生の「荒城の月」のダンスに、生徒時代を思い出しています。文化祭では教室を借りて、あづま会のお部屋を作り、卒業生の「いこいの場」になり、お茶の用意もあります。皆さんの中には、昨年お顔を見せてくれた方がいらっしゃるかもしれませんね。

あづま会は、皆さんが明るく健やかな学院生活を送れるように、応援しています。

主な活動の紹介

＊総会、懇親会の開催
＊「あづまだより」の発行
＊ホームページの配信
＊奨学金の給付
＊校章ストラップの販売
＊常盤祭の参加
＊成人を祝う会

社会のなかで

# 管理栄養士としての役割とは

東京家政学院大学　家政学部　家政学科　管理栄養士専攻卒業
鈴木　ひとみ

管理栄養士の資格を取得し、社会に出て5年が経ちました。

病院や特別養護老人ホームでの現場経験を経て、現在陸上自衛隊において管理栄養士として勤務しています。

自衛隊での栄養士業務は、主に隊員の方々の献立作成にあり「1年365日、1日3食」の食事を栄養バランスはもちろんのこと、味や彩り、食材の金額等を加味し作り上げます。毎日の食事は隊員の活動の源であり、また楽しみでもあることから、士気をあげる為にもとても大切な職務についていることを実感し、おいしく食事をとって頂けるように日々奮闘して業務に励んでいます。

また、栄養に関する正しい知識を伝えることも大切な業務の一つです。食や健康に関する情報が氾濫し、食事の選択肢が幅広くなっている現代で、個人の認識を変え正しい方向に導くのは容易ではありません。

管理栄養士という資格を与えられた者として自分の役割は何かと考えることがあります。栄養の正しい知識を伝え、対象者が食生活を改善しようと思えるような栄養教育を行い、自身で自己管理ができるように導いていけたら「生活習慣病」という言葉を聴かなくなる日が来るのではないかとも考えます。まだまだ、経験の足りない私ですが一人の管理栄養士として社会に貢献できるよう、何かよい影響を残せるようにこれからも励んでいきたいと思っています。

【ある日の献立：サラダうどん】

**プロフィール**

鈴木　ひとみ（スズキ　ヒトミ）
東京家政学院大学　家政学部
家政学科　管理栄養士専攻
平成20年度卒業
富士産業株式会社、慶應義塾大学病院を経て、陸上自衛隊に管理栄養士として入隊
現在に至る

研究室紹介48

# 東京家政学院大学

人間福祉学科　高齢者福祉研究室
（西口守研究室）

現在、高齢化が急速に進んでいることはご存じのとおりです。ここでは、健康の問題、介護の問題、経済の問題、社会とのつながりの問題などが山積しています。

このなかで、あまり話題にならないのが、世代間交流の問題です。

我が国の社会保障制度、特に年金制度は、賦課方式と言って、世代間の支えあいを前提で設計されています。すなわち、現在の高齢者を支えるのは、現役世代の保険料であり、次の世代の給付は、その次の世代の負担を前提とする循環構造です。

つまり、若者と高齢者の世代間交流がなくなれば、この年金方式は基本的には成り立たないのです。だから、我が国の高齢者支援にとっては、この世代間交流は必須といってもいいでしょう。

このような問題意識の中、この研究室では、多摩大学と共同してデイサービス再生プログラムを作り実践し、若者と高齢者の交流を促進してきました。

２０１４年度からはこの取り組みを進めて、若者の得意分野を高齢者に伝え、高齢者の知恵を若者に伝えあおう、という事業を予定しています。

具体的には、若者が得意なスマホなどの通信機器の取り扱い方法を高齢者に伝え、高齢者のコミュニケーションの活動範囲を進めていこうとするものです。

このような小さな取り組みから、それぞれの立場を理解しあい、世代間交流が広がっていければと思っています。

笑う門